

2014年4月7日

TALグループが豪州生命保険市場で業界首位に

第一生命保険株式会社(社長:渡邊光一郎、以下「当社」)傘下の TAL グループ(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Limited 及び同社傘下の子会社の総称)は、2013年12月末時点の保有契約年換算保険料が1,878百万豪ドル(約1,751億円、※1)に達し、豪州の生命保険(保障性商品)市場で業界首位となりました(※2)。

TALグループは、2008年に当社が出資して以来、お客さまのニーズに合わせ、アドバイザー、ダイレクト、ホールセールというマルチチャネルを通じて、お客さまの望む手法で保障性商品を提供することに注力してきました。その結果、業績は堅調に伸展し、出資当初4位であった業界順位を着実に上昇させてきました。特に近年は、アドバイザーからの評価が高く(※3)、好調な販売実績に貢献しています。

当社グループは、今後もTALの更なる収益貢献に期待するとともに、海外事業の一段の取組み強化を図ってまいります。

※1 円貨は、2013年12月末時点の為替レート(1豪ドル=93.24円)で換算。

※2 豪州においては、年換算保険料で業界順位を算出するのが一般的。豪州の調査会社「Plan for Life」が3月7日付で発表した豪州生命保険業界に関するメディアリリース、および豪州の調査会社「DEXX & R」が3月19日付で発表した同業界に関するメディアリリースに基づく。

※3 豪州の調査会社「Core Data」の「Risk Provider of the year」を2年連続で受賞。同賞は、アドバイザーを対象に複数項目の満足度調査を行い、総合評価の最も高い保険会社に授与される。

以上